

岡本侑也さん/桑原志織さん応援レポート

国際音楽祭ヤング・プラハ

イン東京コンサート 2015

2015年11月16日(月) 駐日チェコ共和国大使館

国際音楽祭ヤング・プラハの音色を東京で

9月に開催された第24回国際音楽祭ヤング・プラハ。世界の若手音楽家の育成と若者の国際交流をテーマに1992年にスタートした音楽祭である。才能豊かな若者達が世界中から集い、プラハをはじめとするチェコ各地で音楽の祭典を繰り広げる。また、日本とチェコの文化交流という面でも大きな役割を果たしている。今年の音楽祭には、6か国からソリスト9名、日本からは、岡本さん、桑原さんを含め3名が出演した。

岡本さんは、ヴァルトシュタイン宮殿で行われたオープニングコンサート、リトミシュル・スメタナホールでの演奏会、日本人学校でのコンサートに出演。

桑原さんはプラハのポーランド大使館にてソロ演奏、ドヴォルザークホールでのファイナルコンサートではベートーヴェンのトリプルコンチェルトを演奏した。

クラシックが息づく街プラハで、ヨーロッパの息吹を感じての演奏体験、新たな演奏者との出会いなど、「・・・たくさんの刺激やインスピレーションを得て、貴重な時間を過ごすことができました」とは、ご本人達からのレポートから。



この「ヤング・プラハ in Tokyoコンサート2015」には、岡本さん、桑原さんをはじめ、チェコとフランスからの若手演奏家など、5名が出演の予定。

会場のチェコ共和国大使館ホールには、駐日チェコ大使ご夫妻をはじめ、着物姿などドレスアップされた方々がお集まり。



9月の国際ヤング・プラハ音楽祭の様子。音楽祭ホームページより転載 & 音楽祭事務局よりご提供

皇后陛下の御行啓。お近くに仰いでの演奏



コンサートには皇后陛下が行啓され、お席は客席最前列。

岡本さんも、桑原さんも、皇后陛下を正面に仰いでの演奏。その距離、まさに至近。

演奏者として会場へ登場し、その距離の近さを認識する二人、「・・・びっくりしました。まさか、あんなにお近くにいらっしやるとは」。

緊張もさぞかしと思われたが、二人とも、のびやかに情熱を込めた演奏を披露してくれた。



岡本さんは、最初の曲、ヴァイオリン2つとの3重奏から、チェロとピアノのためのソナタ、そしてラストを飾る合奏協奏曲と大活躍。

ドビュッシーのソナタは、チェロのために書かれた最高級の傑作とされている曲。様々な演奏技巧が披露された。ホール全体に岡本さんが奏でるチェロの落ち着いたと深みのある音色が響き渡る。客席の皆さまから惜しめない拍手が送られた。

桑原さんは、なんと2日前に右手を負傷するというアクシデントがあり、包帯姿での登場。

プログラムに予定されていた「バッハ＝ブゾーニ編曲《シャコンヌ》」を、急遽「バッハ＝ブゾーニ編曲／左手のための《シャコンヌ》」に変更。左手一本で弾き始める。

普段の右手と左手のバランスとは異なる、左手だけの演奏。しかしながら、目を閉じて聴いていれば左手一本、しかも急仕立てとは思えない豊かな音色。会場中の皆さまから温かい拍手が送られた。

数日前にパリで起きた同時多発テロに弔意を表し、会場入り口には、チェコと日本の国旗に加えフランス国旗が掲揚されていた。また『・・・祈りと敬意を込めて』、パリ出身のエヴァ・サヴァアラさんにより、「タイスのメディテーション（瞑想曲）」が演奏された。

岡本さんは翌日には留学先のミュンヘンへと戻る予定。次回の演奏は12月の財団コンサート。コンサートでは、本日披露されたドビュッシーのソナタを演奏してくれる予定とのこと。

「・・・曲の解釈をさらに深めて、バランスを取り、納得のいく演奏ができるように頑張ります！」と力強いコメントをくれた。

桑原さんは、「・・・もう本当に今日は・・・」と終始控えめ。いやいや、アクシデントを受け入れ、乗り越えての気力と努力の演奏、皆さんの印象に深く残ったことであろう。



お優しく深く染み入る御言葉に、感激の二人



演奏終了後の二人

コンサート終了後には、皇后陛下から演奏者ひとりひとりにお言葉をいただき、岡本さんも桑原さんも、感激の面持ち。

「・・・精神が浄化されていくかのような(岡本さん)」、
 「・・・まるで洗礼を受けたかのような(桑原さん)」と、それぞれの感動を伝えてくれた。
 岡本さん、桑原さん、素敵な演奏でした。
 また聴かせてください！



桑原さん、左手での熱演でした



<出演>

桑原志織 ピアノ
 岡本侑也 チェロ
 エヴァ・ザヴァロ(Eva Zavaro)ヴァイオリン フランス
 ロマン・フラニチカ(Roman Hranička)ヴァイオリン チェコ/日本
 ヴァーツラフ・マーハ(Václav Mácha)ピアノ チェコ

<プログラム>

岡本侑也、ロマン・フラニチカ、エヴァ・ザヴァロ
 J.ミスリヴェチェク
 2つのヴァイオリンとチェロの為の3重奏曲 変ロ長調
 エヴァ・ザヴァロ
 B.バルトーク 無伴奏ヴァイオリンソナタより 第1楽章(シャコンヌ)
 ヴァーツラフ・マーハ
 L.ヤナーチェク「草陰の小径」より
 一緒のおいで、フリーデクの聖母マリア、
 彼女らは燕のように喋りたてた、散りゆく木の葉
 ロマン・フラニチカ、ヴァーツラフ・マーハ
 A.ドヴォルザーク ロマンティックな小品より 第1曲
 エヴァ・ザヴァロ
 J.マスネ タイス「メディテーション」
 桑原志織
 J.S.バッハ=J.ブラームス「左手のためのシャコンヌ」
 岡本侑也、ヴァーツラフ・マーハ
 C.ドビュッシー チェロとピアノのためのソナタ ニ短調
 岡本侑也、ロマン・フラニチカ、エヴァ・ザヴァロ、ヴァーツラフ・マーハ
 A.ヴィヴァルディ
 合奏協奏曲<調和の靈感>よりニ短調
 Op.3 No.11 RV.565

【コンサート・パンフレット】

ロマン・フラニチカ (ヴァイオリン) / Roman Hrančíka (violin)

4歳よりヴァイオリンを始める。チェコ国立ブラハ音楽アカデミー修士課程卒業。9歳でヴァイオリンソロ、V. スーク氏指揮でオーケストラと初めて共演。1997年ポーランドのヴィエニウスキとロビンヴァイオリン協演コンサートにて特別奨励賞を受け、ポーランド各地でリサイタル。15歳の時、スメタナフルレットのヴァイオリン奏者として、コスタツァーニ氏の指揮で国際音楽祭ヤングプラハに遠征し、リサイタルに室内楽オーケストラと共演した。チェコ芸術アカデミー在学中、EU音楽学生として、ロンドン大学 The Guildhall School of Music and Drama に入学後、同大学院を卒業。チェコ芸術ラジオ放送局音楽コンクール、コンチェルト・ノ・ブラーグ室内楽部門 (弦楽四重奏部) においてチェコ本国で1位。国際本選で2位受賞。ペート・ムジカコンクールにて1位及び大賞受賞。1994年、ブラハのコンチエールティーン・ブラゴコンクールにて2位。1995年、ブラチスラバのユネスコ・若い音楽家のための国際コンクール入賞。1996年、アイルランド、ダブリンの「ヨーロッパ音楽賞」コンテスト3位。翌年、イギリスでのヴィオッチェ・ヴァルセリアコンクールにて第1位。併せてペート・ムジカ賞を受賞。



ヴァーツラフ・マーハ (ピアノ) / Václav Mácha (piano)

6歳よりピアノをはじめ、12歳の時にはすでに国際ピアノコンクールにて1位を受賞するなど「神童」として話題を呼ぶ。若く15歳でドヴォルジャークホールにてソロリサイタルデビュー。チェコフィルのシーズンシリーズ、ブラハの春国際音楽祭、BBCプロムス (ロンドン) 国際音楽祭の国際音楽祭に前期から早くから演奏活動を開始する。1994年、史上最年少15歳でブラハ国立音楽大学に入学。ピアノをイヴァン・モラヴェツ氏に師事。卒業時に特別賞を受賞。その後カール・ハインツ・ケメリング氏に師事し、ドイツ・ノルヴァー国立音楽大学ソリストコースを修了。1991年、ウィルトゥーザージ・ベル・ムジカコンクールにて1位及び大賞受賞。1994年、ブラハのコンチエールティーン・ブラゴコンクールにて2位。1995年、ブラチスラバのユネスコ・若い音楽家のための国際コンクール入賞。1996年、アイルランド、ダブリンの「ヨーロッパ音楽賞」コンテスト3位。翌年、イギリスでのヴィオッチェ・ヴァルセリアコンクールにて第1位。併せてペート・ムジカ賞を受賞。



要約

お陰様で今年で国際音楽祭ヤング・プラハも24周年を迎えることができました。ヤング・プラハは、会員の皆様、そして株式会社千代田テクノル様、株式会社松尾製作所様をはじめ、ご賛助会社のご支援・ご協力により支えられ、若い音楽家たちの発展に寄与しています。これまでのご支援に心よりお礼を申し上げます。今後ともどうぞよろしくお付き合い申し上げます。 国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会

PROGRAM

- J. ミスリヴェツェク 2つのヴァイオリンとチェコの海の3重奏曲 実口真樹
Josef Mysliveček Trio for two violins and violoncello in B flat major (1737-1781) Vivace / Andante / Menuetto
エヴァ・ザヴァロ / Eva Zavaro (violin), 岡本 侑也 / Yuya Okamoto (violoncello), ロマン・フラニチカ / Roman Hrančíka (violin)
 - B. (バルトーク) 蘇丹舞ヴァイオリンソナタより 第1楽章 (ジャコソス)
Bartók Béla Sonata for Solo Violin Tempo di clacson (1881-1945)
エヴァ・ザヴァロ / Eva Zavaro (violin)
 - L. ヤナーチェク 「草笛の小唄」より「一組においで」/「フリーデクの聖母マリア」
「彼女らは若のように輝かたて」/「取りゆく木の葉」
Leoš Janáček Po zvonění ohodničku (1854-1928) Pojd' te s námi / Frydecká panna Maria Šibětaly jak leskovičky / Listek odvanuty
ヴァーツラフ・マーハ / Václav Mácha (piano)
 - A. ドヴォルジャーク ロマンティックな小唄より 第1曲
Antonín Dvořák Romantické kusy No.1 (1841-1904) Allegro moderato, B♭ major
ロマン・フラニチカ / Roman Hrančíka (violin),
ヴァーツラフ・マーハ / Václav Mácha (piano)
- Intermission 休憩 ——
- J.S. バッハ=エ. フゾーニ ショコンヌ 二重奏
J.S. Bach Chaconne in D minor BWV 1004 (1685-1750) - F. Busoni (1866-1924)
桑原 志帆 / Shiori Kuwahara (piano)
 - C. ドビュッシー チェロとピアノのためのソナタ 二重奏
Claude Debussy Sonate pour violoncelle et piano d-moll (1862-1918) Prologue : Lent / Sérénade : Modérément animé Final : Animé, léger et nerveux - Lent
岡本 侑也 / Yuya Okamoto (violoncello),
ヴァーツラフ・マーハ / Václav Mácha (piano)
 - A. ヴィヴァルディ 各奏楽曲<劇的の空想>より 二重奏 Op.3 No.11 RV.565
Antonio Vivaldi Concerto grosso: 'L'Estre Armonico' in B-minor Op.3 No.11 RV.565 (1678-1741) Allegro - Adagio e spiccato - Allegro / Largo e spiccato (aka Siciliano) / Allegro
ロマン・フラニチカ / Roman Hrančíka (violin),
エヴァ・ザヴァロ / Eva Zavaro (violin), 岡本 侑也 / Yuya Okamoto (violoncello),
ヴァーツラフ・マーハ / Václav Mácha (piano)

The 24th Anniversary of
Madá Praha
Young Prague
In Tokyo Concert 2015
国際音楽祭ヤング・プラハ
イン東京コンサート 2015

PROGRAM

- 日時: 2015年11月16日(月)午後7時開演
on November 16, 2015 (Mon.) 19:00
- 場所: チェコ共和国大使館 レセプション・ホール
at Embassy of the Czech Republic in Tokyo
- 主催: 国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
presented by
International Music Festival "Young Prague" Committee of Japan
- 後援: チェコ共和国大使館, チェコセンター
special support by
Embassy of the Czech Republic in Tokyo, Czech Centre Tokyo
- 協力: ビルステナー・ウルケル
cooperation by Pilsner Urquell

ARTISTS PROFILES

桑原 志帆 (ピアノ) / Shiori Kuwahara (piano)

1995年東京生まれ。2012年第10回東京音楽コンクール第2位。翌年第37回ビティピアノコンペティション特別奨励賞、聴賞賞、王子ホール賞、第6回福岡市音響奨励賞受賞。第9回ルーマニア国際音楽コンクール第1位。2014年東京音楽大学入学。同年第83回日本音楽コンクール第2位。岩谷賞受賞。また、ホノルルにてコンチェルトリスト、NHK 大阪ホール〜N響メンバーと新進美声家の出会い、ウィーン国立音楽大学内 Franz Liszt Hall に於かれてのコンサート等の演奏会に出演。2015年(ルターノ多摩ニューイヤーコンサート)では、チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番を、十重尚宏指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。2014年度ヤマハ音楽奨励賞音楽奨励賞学生。2015年度江新記念財団奨励賞。東京芸術大学音楽学部2年在学中。伊藤原氏に師事。



岡本侑也 (チェロ) / Yuya Okamoto (violoncello)

1994年生まれ。9才までドイツで育つ。2004年ドイツ音楽協会主催青少年音楽コンクール、バイエルン州の地域部門にて第1位ならびにバイエルン放送局特別賞を受賞。2010年若い人々のための「サイトウ・キネン室内楽財団」ならびに小澤征爾音楽塾オーケストラに参加。同年第80回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。ならびに遠征賞、美観賞、徳永賞、岩谷賞 (聴賞賞) を受賞。2014年、「明日への扉」シリーズ (紀尾井ホール) にてリサイタル、「新・クラシックへの扉」シリーズにて新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。第25期新日本財団音楽奨励賞を受賞。H=Jゼーファルト、山崎伸子、W=オ・ヤンの各氏に師事。これまでに東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、バート・ライヒェンハル管弦楽団と数々のオーケストラと共演。東京芸術大学音楽学部を経て、現在ドイツ・デュッセルドルフ音楽大学に在学中。(公財) 江新記念財団 2013年度、2014年度奨励賞。(公財) 江新記念財団第42回奨励賞。



エヴァ・ザヴァロ (ヴァイオリン) / Eva Zavaro (violin)

1995年生まれ。パリ国立高等音楽院にてRoland Degenreil氏に師事し修士課程卒業。現在Julia Fischer氏に師事し、ミュンヘン国立音楽大学修士課程に在学中。12歳の時にViolot-Rampolコンクールにて優勝。14歳でロンドン交響楽団と共演。2014年にはブラハ・ドヴォルジャークホールにてルチエヴォルハーモニー管弦楽団と共演し好評を得ず。2014年、小澤征爾アカデミーにて演奏。ピアノ4重奏 Quartet Abeggのメンバーとしてフランスラジオにて演奏。ピアノとシューマンを演奏。ロッテ・メグリン室内楽協会の専任メンバー。フランス・ドヴォルジャークのメンバーとしてヨーロッパ各地で演奏し、室内楽者としても成功を収めている。使用楽器は1825年製 Giovanni Francesco Pressenda である。

